

PZ-3 (three)

中期経営3カ年計画(2005年度～2007年度) 進捗状況

2007年11月8日

 **日本ゼオン株式会社**

代表取締役社長 古河 直純

PZ-3のポイント

コンセプト

PZ-3

2005年度 ~ 2007年度

**飛躍の実現
企業価値向上**

- ・積極的投資
- ・生産革新
- ・CSR重視
- ・研究開発強化

基本方針

- ◆『企業の社会的責任（CSR）』を再認識し、社会から信頼され、社員も誇りに思える会社づくりを「スピード」「対話」「社会貢献」をもって追求する。
- ◆経営戦略と研究戦略を一致させ、ひとのまねをしない、ひとがまねをできない世界一の独創的技術で新事業を創造し、継続的に発展・拡大させる。

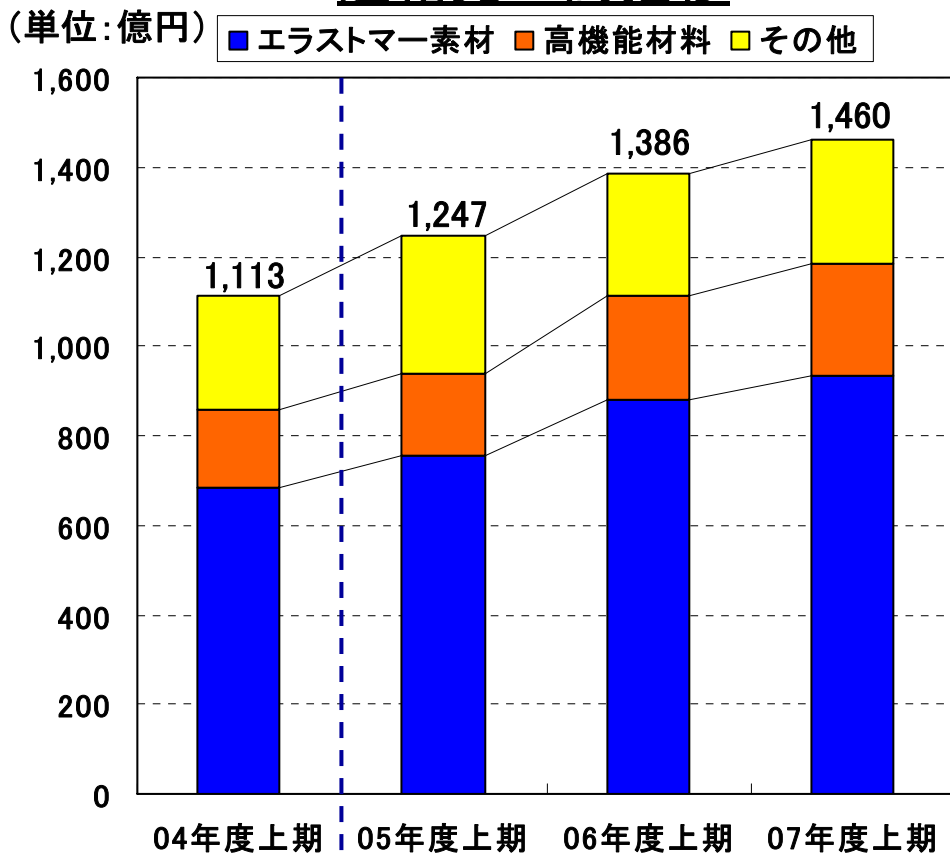
PZ-3 連結業績目標の達成状況

	2004年度 実績	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 上期実績	2007年度 予想	2007年度 PZ-3 計画
売上高	2,314億円	2,631億円	2,816億円	1,460億円	3,000億円	2,700億円
営業利益	193億円	268億円	302億円	140億円	310億円	330億円
高機能材料事業 営業利益構成比	45%	38%	32%	33%	42%	55%
ROE	10.2%	17.6%	16.4%	※ 12.4%	15.1%	16%

※ROEの2007年度上期実績は、上期当期利益を2倍して年度ベースに換算したものです

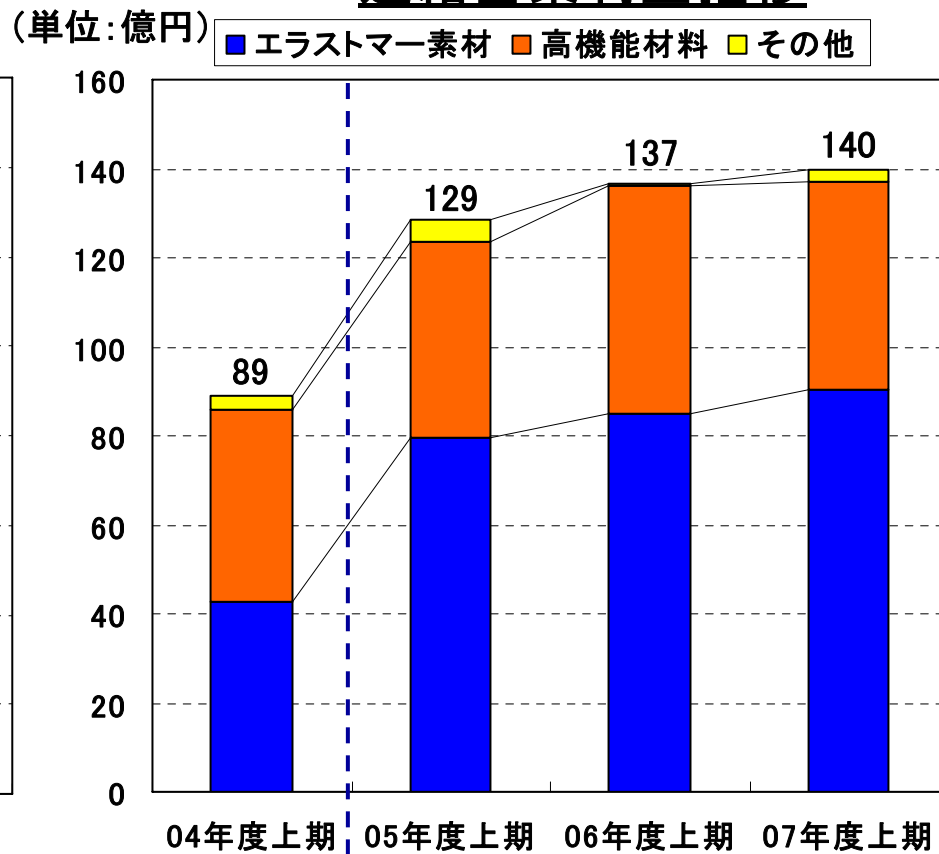
セグメント別上期連結業績推移

連結売上高推移



PZ-3スタート

連結営業利益推移



PZ-3スタート



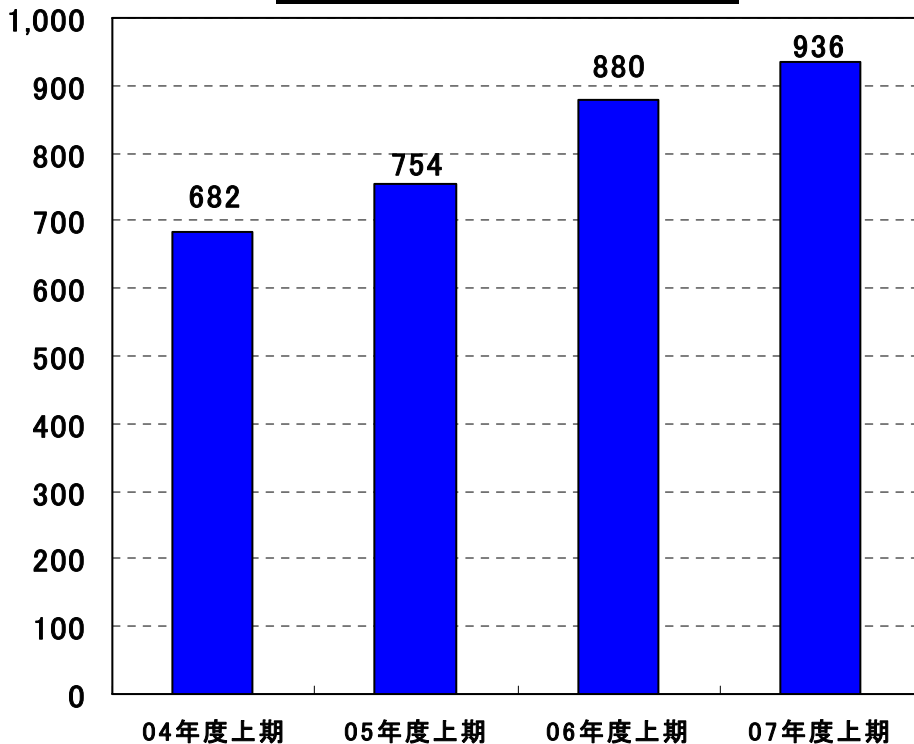
連結営業利益

上期5年連続の増益、さらに5年連続の過去最高益更新

エラストマー素材事業 セグメント

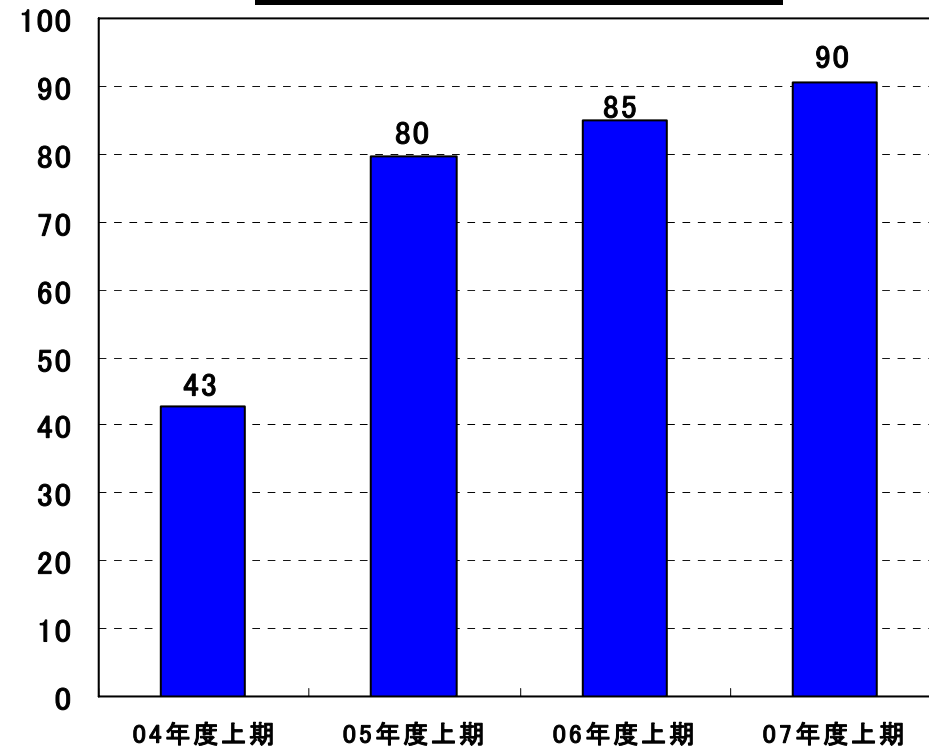
(単位:億円)

連結売上高推移



(単位:億円)

連結営業利益推移



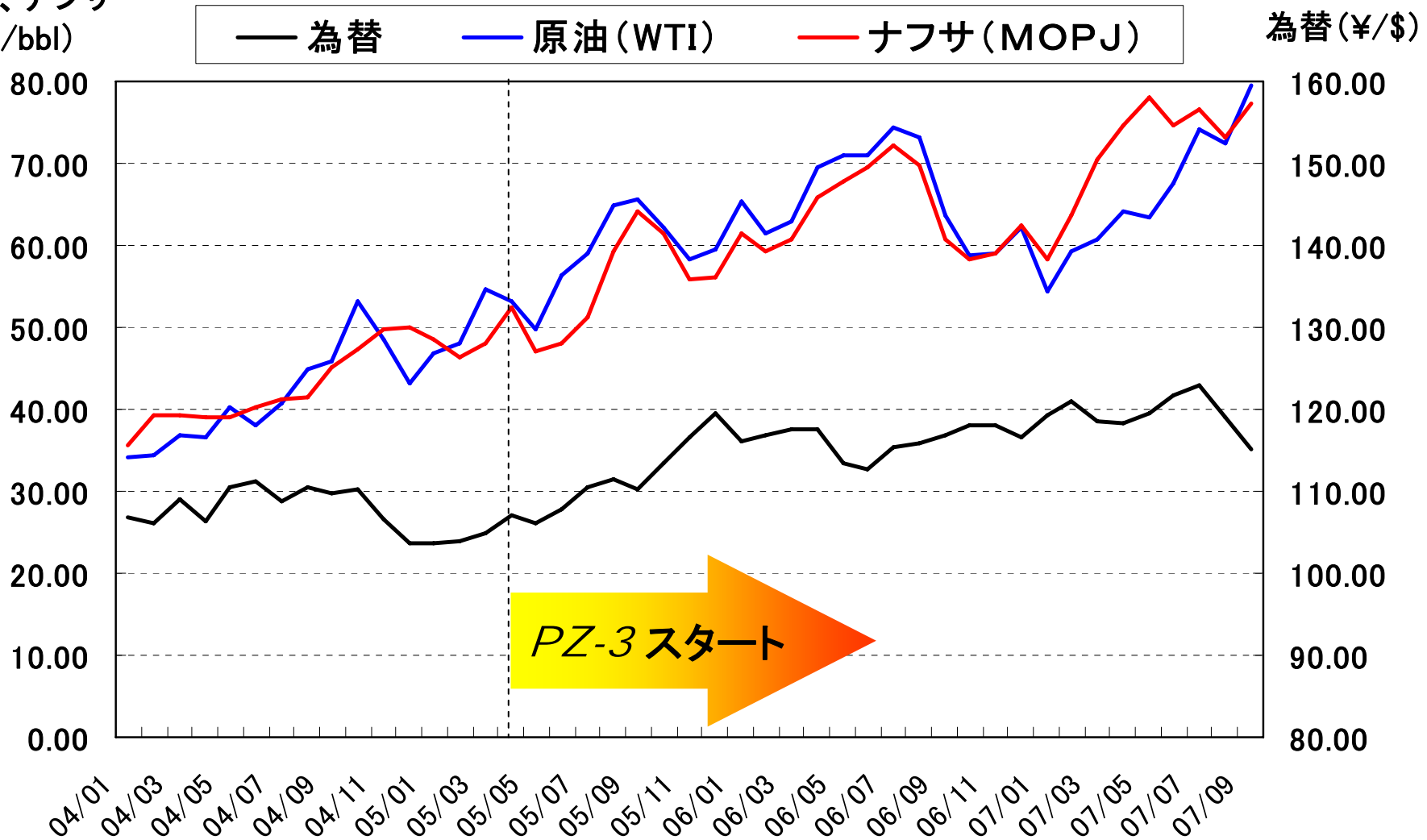
【2007年度上期総括】

- ・原油、ナフサ等の原材料価格の高騰
- ・自動車、タイヤ等主要用途の需要は好調に推移
- ・海外市場における採算重視の販売政策を継続
- ・ZΣ活動(コストダウン活動)を推進

事業環境の変化

エラストマー素材

原油、ナフサ
(\$/bbl)



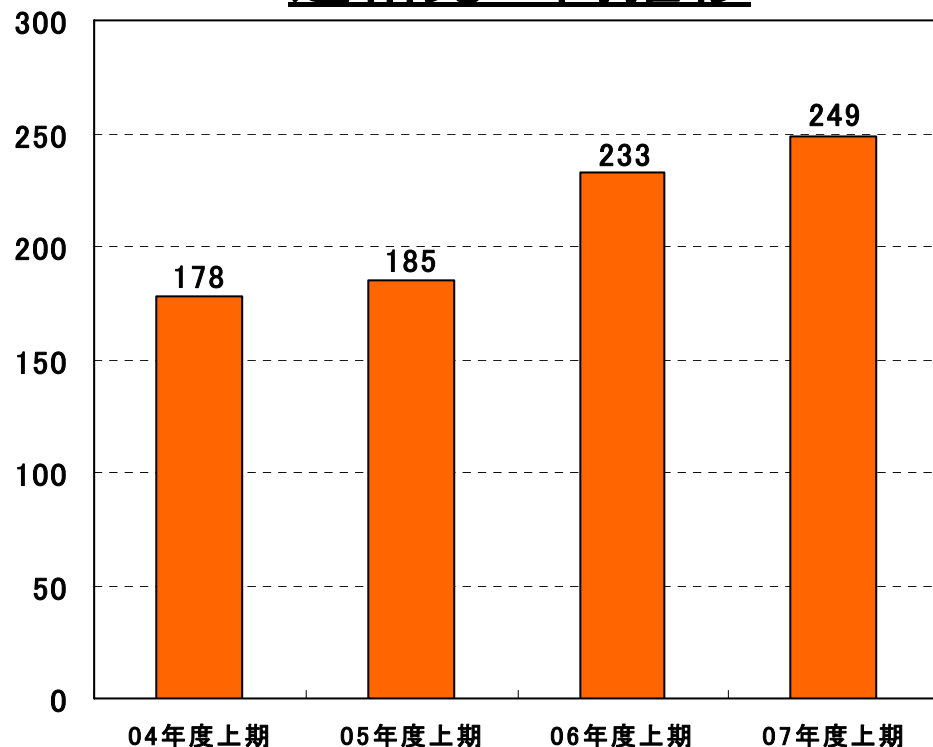
高機能材料事業 セグメント

◆ 上期連結セグメント業績推移

高機能材料

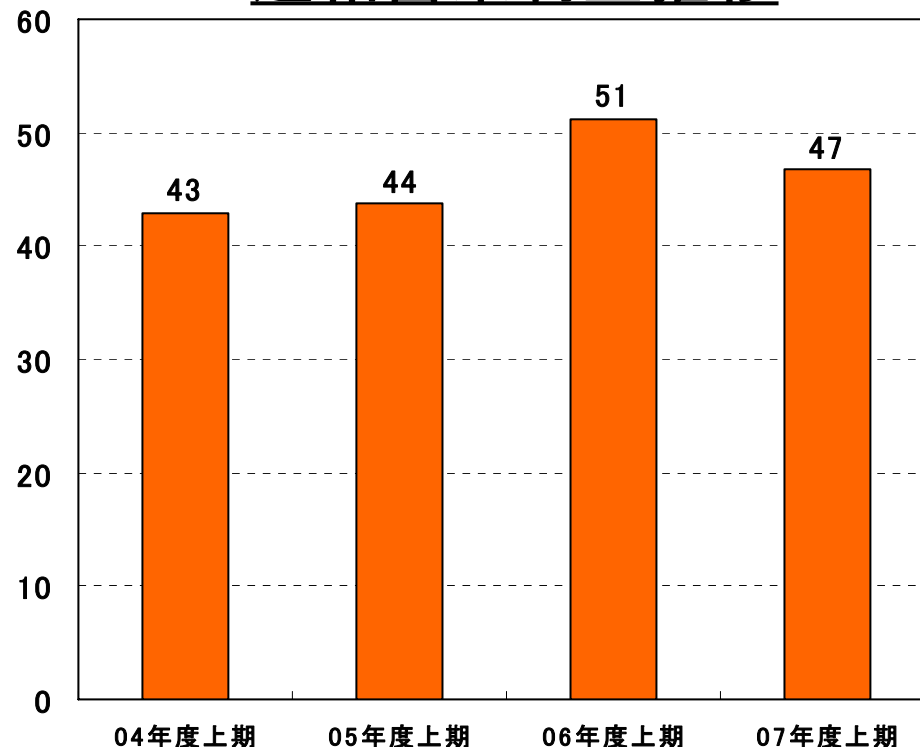
(単位:億円)

連結売上高推移



(単位:億円)

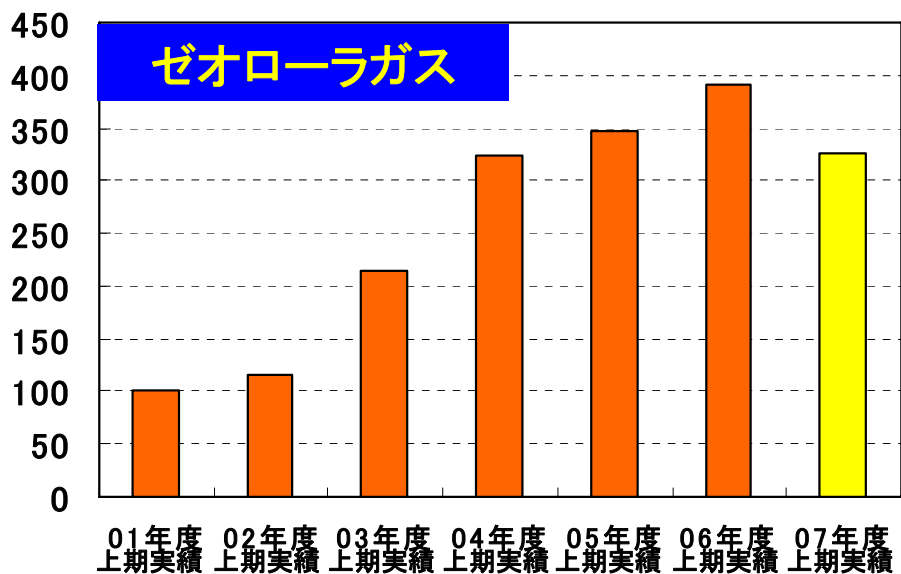
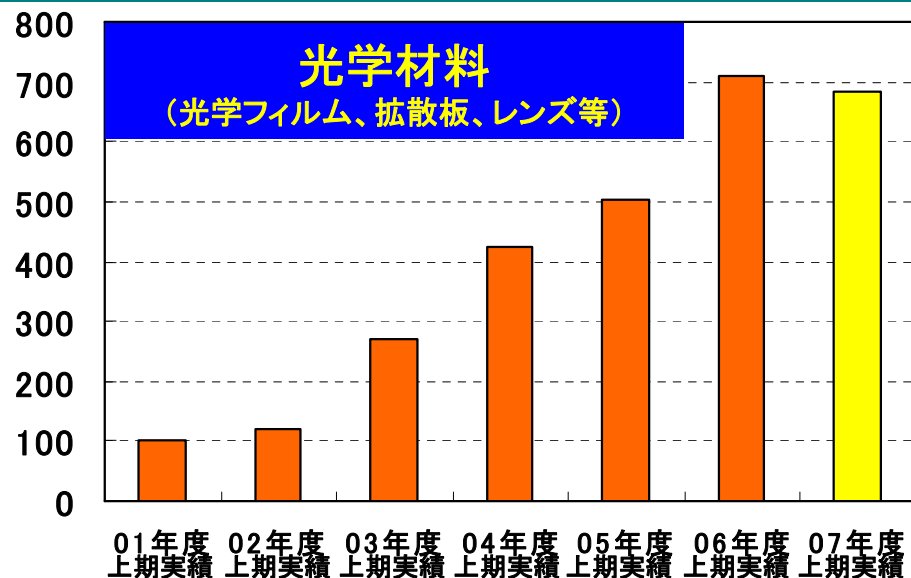
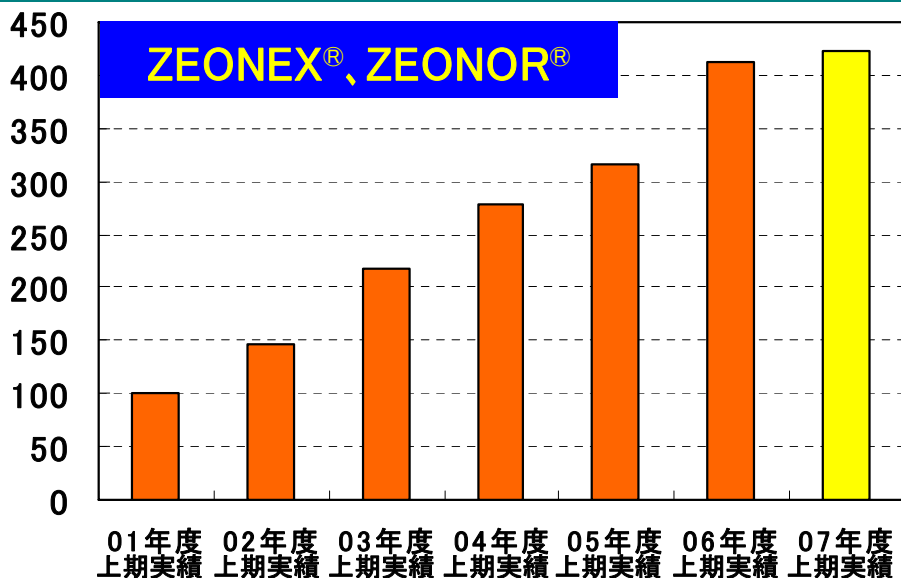
連結営業利益推移



【2007年度上期総括】

- ・高機能樹脂関連については、売上高を伸ばしたものの、販売価格の低下と研究開発費の増加等の影響で増収減益。
- ・情報材料関連、化学品関連は増収増益。

戦略製品の売上高推移(上期) 高機能材料



※何れも2001年度上期を100とした場合

ゼオノアフィルム®新工場

高機能材料

敷地面積: 約170,000m²

建物延床面積: 約22,000m²

階層: 鉄骨造3階建

建屋完成: 2007年4月末

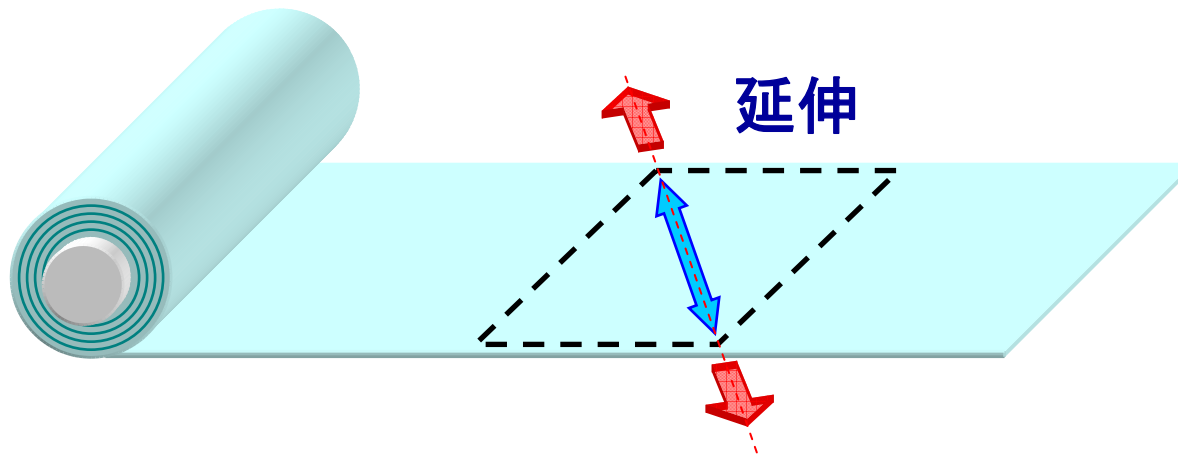
工業用地(6.99ha)

(株)オプテス
富山工場
氷見製造部
07年12月本格稼動



ZDフィルム（斜め延伸位相差フィルム）

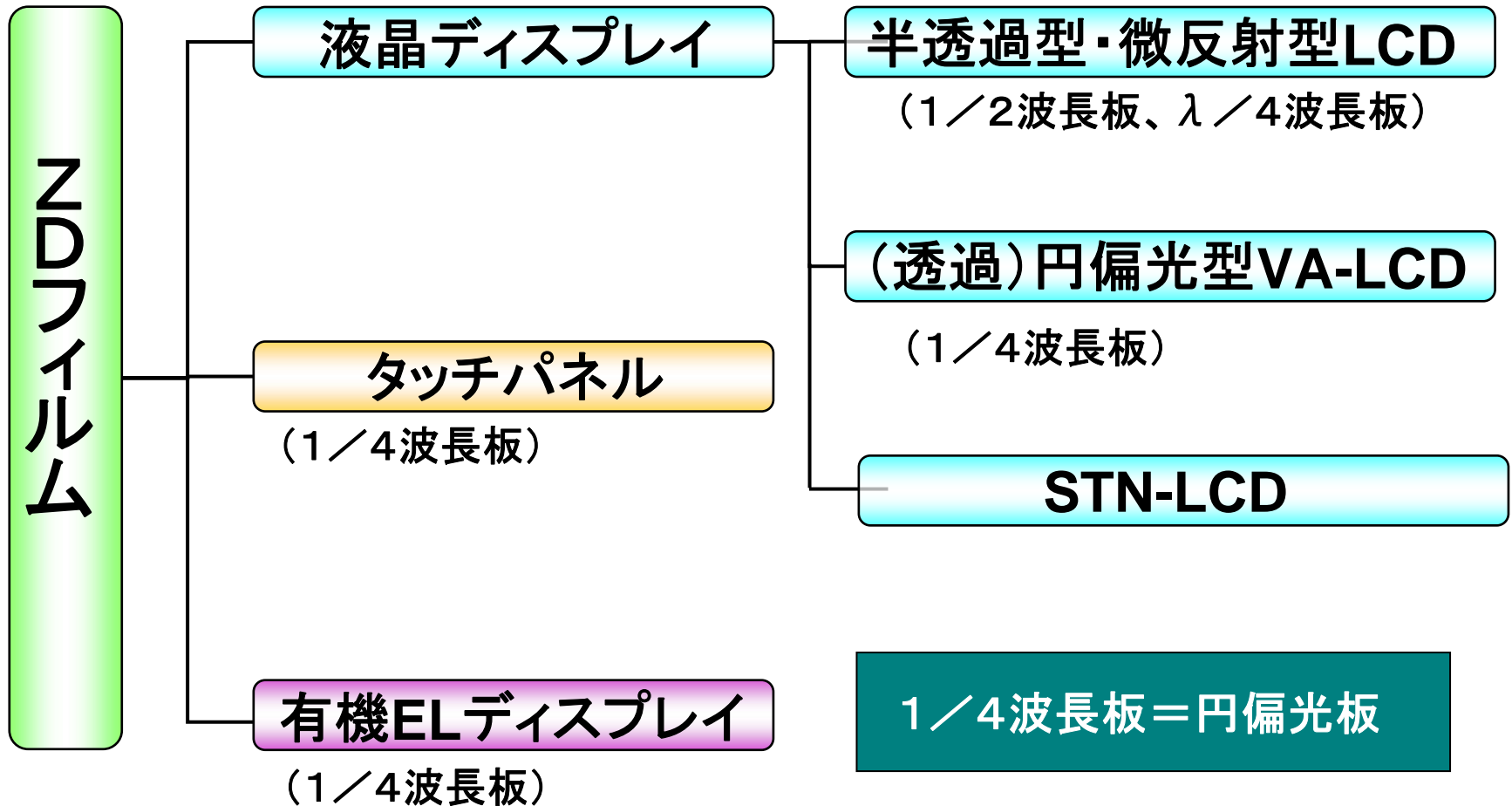
※分子配向軸がフィルムの長手方向または幅方向と異なるフィルム



1. 世界で初めての生産技術(競合が無い)
2. 全ての液晶モードでロールツーロール貼合が可能
従来、遅相軸が偏光軸または吸収軸と一致する一部の液晶モードでしかロールツーロール貼合は可能では無かった
3. ロールツーロール化で、偏光板保護膜が不要になると共に、バッチ貼合プロセスが不要となる
 - ➡ 大幅なコストダウンになる
4. 偏光板の究極の薄肉化が可能となる
 - ➡ 携帯電話市場で大きな魅力
5. 従来のゼオノア原反市場以外の展開も可能となる

ZDフィルムの用途展開

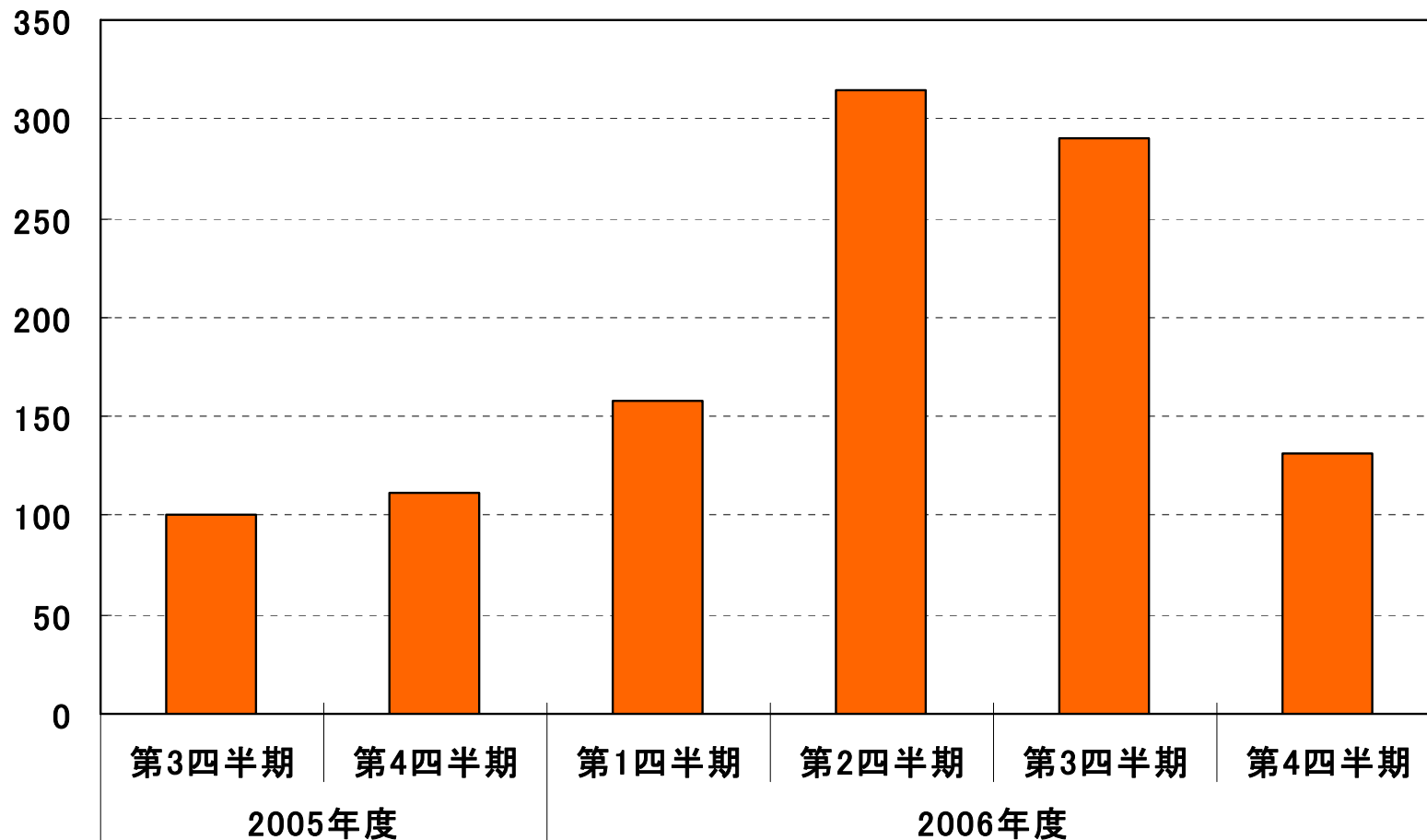
高機能材料





拡散板売上高推移

(2007年5月17日 説明会資料より)



※2005年度第3四半期を100とした場合

「超薄型」TV 商戦火ぶた

国内電機メーカーの「超薄型」テレビ

	表示方法	画面サイズ	最薄部の厚さ	重さ	価格	1インチ当たりの価格	発売時期
日立製作所	液晶	32インチ	3.5センチメートル	10.9キログラム	23万円	0.72 (メーカーの希望小売価格)	2007年12月
シャープ	液晶	52	2	25	-	-	2009年度
日本ビクター	液晶	42	3.7	20-22 (推計)	-	-	2008年3月
ソニー	有機EL	11	0.3	2	20	1.82 (メーカーの希望小売価格)	2007年12月
シャープの既存品	液晶	32	8.1	15	21.8	0.68 (店頭での実勢価格)	2007年8月

3.5センチ液晶、日立が12月発売

薄型テレビの厚さをさらに薄くした「超薄型」商戦が本格スタートする。日立製作所は二十三日、厚さ三・五センチの液晶を十二月中旬に発売すると発表。現在、最も薄い八・一センチの半分以上で、壁掛けに向く。ソニーも同月に次世代ディスプレイの有機EL（エレクトロ・ルミネッセンス）を使い厚さ〇・三センチのテレビを発売。来春以降に日本ビクターやシャープが液晶で商品化する予定で、薄型テレビの普及に拍車がかかる可能性がある。

ソニー、有機EL 0.3センチ



日立が発表した超薄型

日立の新製品は「W000（ウー）UTシリーズ」。年末の目玉として32型を投入する。最も厚い部分でも三・九センチ。オープン価格だが、店頭の実勢は二十万円前後となる見通しで、日立の既存32型より五万円程度高くなる。重量は従来に比べ約五割減の十・九キロ。二〇〇八年二月以降、37型、42型も発売、三種で月産計三万五千台を見込む。今年度の販売目標は計五万台で、これは

出典：2007年10月24日 日本経済新聞

その他の状況

◆ 研究開発戦略

● 研究開発戦略

1. 経営戦略と研究開発戦略の一体化
2. 研究開発速度のスピードアップと成功確率の向上
3. テクノロジープラットフォームの戦略的強化

『狙いの5分野』

記録

コンピュータ

表示

エネルギー

通信

第2回ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞を受賞

『溶融押し出し法による液晶ディスプレイ用光学フィルム』

【2007年8月3日】

当社は、内閣総理大臣表彰制度として2005年に創設された「ものづくり日本大賞」において、「製品・技術開発」部門で経済産業大臣賞を受賞しました。

「ものづくり日本大賞」は、我が国の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきた「ものづくり」を継承・発展させるため、ものづくりを支える人材の意欲を高め、その存在を広く社会に知らしめるため、2005年に創設された表彰制度で、今回が第2回となります。「製品・技術開発」部門では、高度な技術的課題を克服し、従来にない画期的製品・部品や生産技術の開発・実用化を実現させた個人もしくはグループが受賞の対象となります。



研究拠点の整備・拡充

研究開発

精密光学研究所
(高岡)



精密光学研究所
機械加工棟(高岡)



化学品研究棟
(米沢)



メディカル研究所
(高岡)



総合開発センター
10号館(川崎)

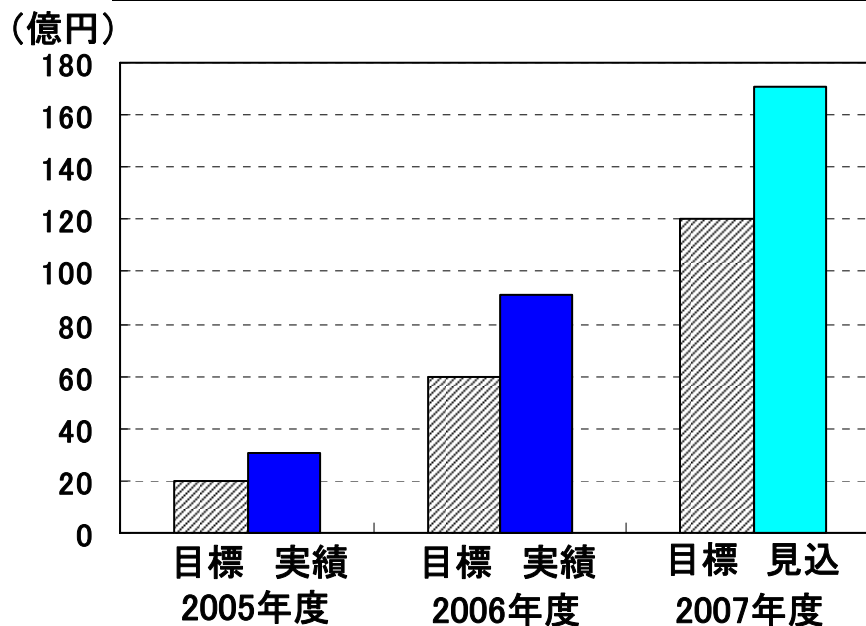


総合開発センター
(川崎)



1. 生産革新による安定・安全生産の徹底追求
2. グループ力を結集したコストダウンの実践

累積コストダウン効果額



社会から信頼され、社員もゼオンに働く誇りを感じる会社の実現

2007年7月 化学物質の大気排出量削減のための設備増強

川崎工場に新型産業廃棄物施設(乾留ガス化炉方式焼却炉)を設置。従来施設と比べ、処理する産業廃棄物の量はほぼ同量だが、有害物質濃度は10分の1に、排ガス量は概ね60%に削減される。

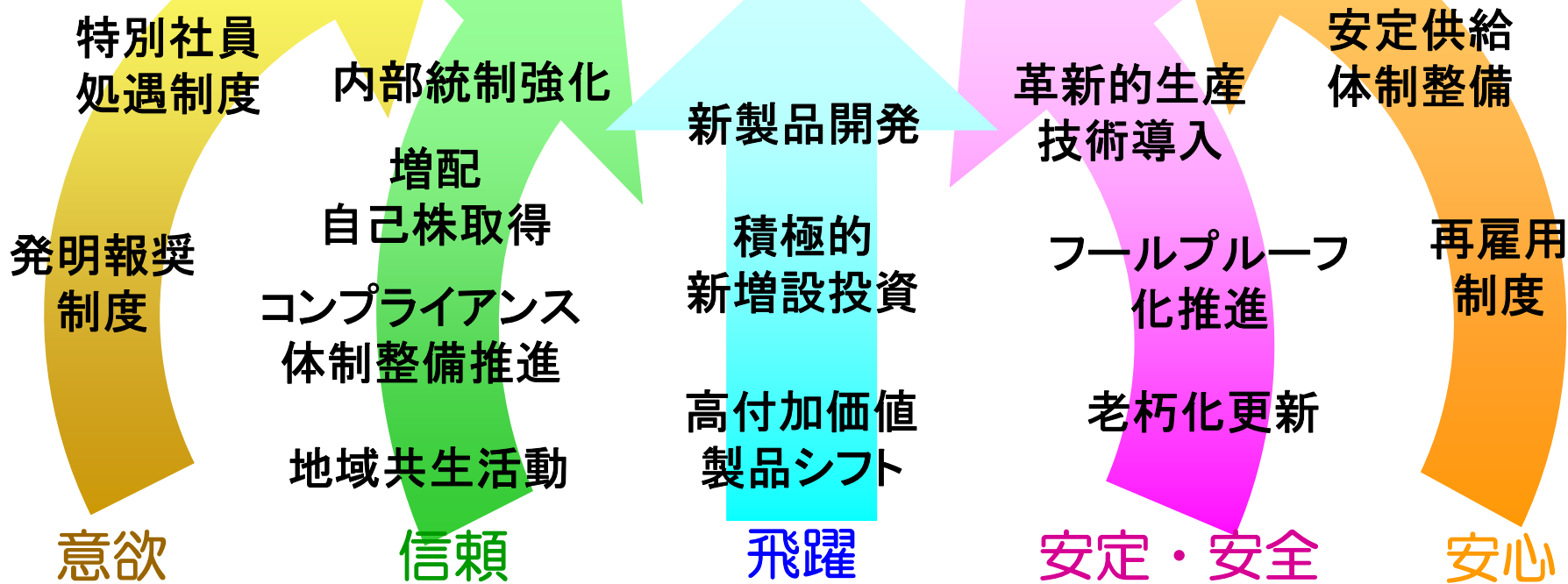
「地球にやさしい都市型工場」
をめざした環境安全の取り組み



企業価値向上のために

企業価値向上

CSR

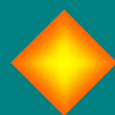


PZ-3

スピード

対話

社会貢献



スピード

対話

社会貢献

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

日本ゼオン株式会社 広報室
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501